

平成29年度事業計画書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業目的である行政の政策並びに産業界からの要請のもと、廃棄物の適正処理により、生活環境の保全及び産業の健全な発展に貢献することに努め、平成27年度総合経営管理計画に基づき、一層の安全安心な事業推進を図ってまいります。

1 廃棄物の最終処分事業

(1) 廃棄物の適正処理に関する情報公開及び啓発活動の推進

①情報公開の推進

処分場の維持管理記録を中心にホームページを通じて情報公開を推進し、産業廃棄物処理業の優良事業者の認定を継続します。

②啓発活動の推進

豊田スタジアムで開催される「とよた産業フェスタ」へ参加し、廃棄物の最終処分の実態と資源循環を廃棄物の展示やパネル展示にて、より効果的に啓発します。また、地元自治区である御船町自治区の「御船ふれあいまつり」へ参加し、地域社会における公社の役割等を含め、公社事業のPRを行い、一層の地域とのコミュニケーションを図ります。

(2) 地域環境整備への貢献

①環境美化活動推進

浸出水処理施設で浄化処理した水の放流先である御船川の草刈りを行うとともに、処分場の周辺道路のゴミ拾いを春と秋の環境美化の日に合わせて行います。

(3) 適正な最終処分場運営管理の推進

①廃棄物品質管理の標準化

充実を図った廃棄物定期検査の標準化を推進します。

②浸出水処理施設の長寿命化のための計画的な保全の継続

施設の老朽化に伴う将来リスクを軽減するため、計画的な予防保全を継続していきます。

③安全かつ効率的な埋立の実施

廃棄物の受入量の変動に応じた埋立計画を策定し、安全かつ効率的な埋立を実施します。

(4) 中長期的経営活動

①浸出水処理施設の増強

埋立廃棄物の種類の構成割合及び量の増加等による浸出水の水質の変化、また法規制の変化等への対応のため、将来を見据えて処理能力の増強対策を検討し、一層の安全な施設運営を図ります。

(5) 地域環境保全の推進

①環境モニタリングによる継続監視

水質、大気汚染、騒音、悪臭調査による環境影響評価の継続的監視を行います。

2 循環型社会推進事業

(1) 豊田市緑のリサイクルセンター受託事業

①生産管理のシステム化の充実

季節によって生じる需給のアンバランスに対して、迅速に対応できるよう、原料投入からたい肥完成までの工程分析を行い、その仕組みを体系化し、生産管理のシステム化の充実をします。

②包括的運転維持管理の推進

3年間の包括的運転維持管理業務委託の1年目になります。包括的業務委託のため、緑のリサイクルセンターの運営は、一定の裁量のもと、これまでの経験やノウハウを活かした効率的な運営が望まれますので、民間の経営手法の良い点を取り入れた運営を展開します。